

パブリックコメントの結果について

募集期間：平成30年12月21日～平成31年1月21日

応募件数：6件

1団体、5名の方から6件の意見をいただきました。その反映状況は次のとおりです。

文章修正等	記述済み	検討	反映困難	その他	合計
0件	1件	1件	0件	4件	6件

【文章修正等】・・・本文の修正、記述の追加等意見を反映させるもの。

【記述済み】・・・既に記述済みのもの。

【検討】・・・計画の実施段階で検討または対応すべきもの。

【反映困難】・・・反映が困難なもの。

【その他】・・・質問や感想。施策の体系外への意見。

弘前市総合計画(素案)に対する意見等

※いただいた意見はなるべく原文のまま掲載していますが、長文の意見などは概要を載せています。

No.	提出方法	在住・在学等の区分 (該当するもの全て選択)	意見等	回答
1	メール	<input checked="" type="checkbox"/> 弘前市内に住所を有する人 <input type="checkbox"/> 弘前市内に事務所等を有する人または団体等 <input type="checkbox"/> 弘前市内に勤務する人 <input type="checkbox"/> 弘前市内の学校に在学する人 <input type="checkbox"/> 弘前市に対して納税義務がある人、または寄附を行う人 <input type="checkbox"/> 本計画(素案)に利害関係を有する人	<p><該当箇所> 政策⑭景観・文化財 政策の方向性1 郷土弘前を愛し、自然や歴史・文化財に親しむ心の醸成</p> <p>伝統文化を保存継承することで郷土に愛着のある生命力の強い人間を育ててゆくという政策に賛成です。</p> <p>伝統芸能や伝統行事の伝承に『津軽凧』の継承を唱えたいです。</p> <p>全国、全世界に凧で遊ぶ文化はみられますが、津軽凧の存在は独特、唯一無二です。軽さを要求されるはずなのに、ひばという木が材料であり、他ではみられないしっぽをつけ、ブンブという風音を響かせます。ねふたを見ればお囃子や紙張りの喧騒が聞こえる様に、津軽凧をみれば糸から伝わる風の強さやブンブのうなりが聞こえます。まだ継承者のいるうちに多くの子どもたちに体験してもらいたいです。</p> <p>弘前市の新たなランドマークになりそうな、堀越城址の旧小山内住宅で凧作り、凧あげ大会などはどうでしょう。旧小山内住宅周辺では多くの凧あげがみられた、あるいは津軽凧に親しんだ多くの人が生活されていたのではないのでしょうか。</p> <p>博物館などでの展示も最近ではあまりありませんが、技術を必要とする津軽凧あげも継承すべき大切な独自文化と考えます。</p>	<p>弘前市には有形無形を問わず歴史的な経緯を持つ伝統的な文化が多数残されており、その継承が活力ある地域を形成することにつながると考えております。</p> <p>今後も、弘前市に残された伝統的な文化を継承していくための施策を様々な検討してまいります。</p> <p>なお、市では岩木全国凧揚げ大会への事業費補助金を毎年交付し津軽凧を含む凧揚げ文化の伝統継承・維持などを図っているところです。</p> <p>また、平成31年度に整備が完了する予定の史跡津軽氏城跡堀越城跡及び復元工事の完了した市指定有形文化財旧石戸谷家住宅を活用した凧揚げイベントのご提案につきましては、史跡等の活用手法の一つとして、今後検討してまいります。</p>

No.	提出方法	在住・在学等の区分 (該当するもの全て選択)	意見等	回答
2	持参(図書館)	<input checked="" type="checkbox"/> 弘前市内に住所を有する人 <input type="checkbox"/> 弘前市内に事務所等を有する人または団体等 <input checked="" type="checkbox"/> 弘前市内に勤務する人 <input type="checkbox"/> 弘前市内の学校に在学する人 <input type="checkbox"/> 弘前市に対して納税義務がある人、または寄附を行う人 <input type="checkbox"/> 本計画(素案)に利害関係を有する人	<p><該当箇所> 政策⑥雇用 政策の方向性1 就業・雇用環境の充実 施策2)多様な担い手の雇用の促進</p> <p>高齢者の雇用促進として、弘前市には官民間問わず大きな可能性がある。</p> <p>AI、IoT技術を高齢者も取得し、シルバー人材センターなどだけではなく、官民あげて生涯自分の収入で生活することができる施策を市役所が率先してはどうか。</p> <p>弘前市の地元住民の収入になる活性化施策が不足している。 観光にしろ、地元住民(全ての世代)の収入になる。</p>	<p>国においては、高齢者が少なくとも年金受給開始年齢まで働き続けられる環境の整備を目的とした「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の一部が改正される(2013年(平成25)年改正)など、急速な高齢化の進行に対応し、高齢者が健康で、意欲と能力がある限り年齢にかかわらず働き続けることができる生涯現役社会の実現に向けた取組を実施しております。</p> <p>本市においても、地元企業等におけるシニア人材の活用を促進するため、高齢者の雇用支援を行っている団体等と連携し、企業を対象とした啓発セミナーを開催するなど、高齢者の雇用の促進に取り組むこととしております。</p>

No.	提出方法	在住・在学等の区分 (該当するもの全て選択)	意見等	回答
3	メール	<p>■弘前市内に住所を有する人</p> <p>■弘前市内に事務所等を有する人または団体等</p> <p>■弘前市内に勤務する人</p> <p>□弘前市内の学校に在学する人</p> <p>■弘前市に対して納税義務がある人、または寄附を行う人</p> <p>□本計画(素案)に利害関係を有する人</p>	<p><該当箇所> 政策⑥雇用 政策の方向性1 就業・雇用環境の充実 施策2)多様な担い手の雇用の推進</p> <p>人口減少・少子高齢化が急速に進み、超高齢社会を迎える我が国においては、労働力人口が大幅に減少することが懸念され、「生涯現役社会」の実現が強く求められております。</p> <p>こうした中、シルバー人材センターは、高齢者に、サービス業等の人手不足分野や現役世代を支える分野で、就業する機会を提供する事業として、平成27年度より「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業(通称:サポート事業)」を実施しており、労働力確保及び生涯現役社会実現の一助となっているものと考えます。</p> <p>については、当該事業に係る補助内容を併せ持つ貴市補助金「弘前市シルバー人材センター運営費補助金」を、113ページの「政策⑥雇用 政策の方向性1 就業・雇用環境の充実 施策2)多様な担い手の雇用の推進」の計画事業に追加すべきと考えます。</p>	<p>ご指摘のとおり、生産年齢人口の減少等、社会環境の変化による人手不足は今後も続く見込まれており、本市といたしましても高齢者の雇用促進につながる環境整備は大変重要であると考えているため、本計画において、若年者や女性、高齢者、障がい者など多様な担い手の雇用促進に取り組むこととしております。</p> <p>「弘前市シルバー人材センター運営費補助金」については、「政策⑤福祉、政策の方向性3自立・就労支援の充実、施策1)生活困窮者及び就労困難者等の自立・就労支援」の計画事業に本掲、「政策⑤福祉、政策の方向性1高齢者福祉の充実、施策1高齢者の社会参加・生きがいの促進」の計画事業に再掲し、高齢者の就労支援や生きがいがいづくりに取り組むこととしておりますが、「政策⑥雇用、政策の方向性1就業・雇用環境の充実、施策2)多様な担い手の雇用の推進」の計画事業にも再掲し、高齢者の雇用対策及び高齢者が活躍できる場の創出に取り組むことといたします。</p>

No.	提出方法	在住・在学等の区分 (該当するもの全て選択)	意見等	回答
4	メール	<p>■弘前市内に住所を有する人</p> <p>□弘前市内に事務所等を有する人または団体等</p> <p>■弘前市内に勤務する人</p> <p>□弘前市内の学校に在学する人</p> <p>■弘前市に対して納税義務がある人、または寄附を行う人</p> <p>□本計画(素案)に利害関係を有する人</p>	<p><該当箇所> 政策①学び 政策④健康・医療</p> <p>中学生の学力向上、生涯学習そして健康寿命に関して。</p> <p>NHKの番組で、AIの分析により図書館の多い山梨県が健康寿命の長い県として紹介されたが、青森県の図書館の数の少なさと健康寿命の短さがそれと逆対応している。</p> <p>学びのまちにするために図書館の量と質の充実、読書を勧め、読書指導する人材の育成を図って頂きたい。</p> <p>そのために、まず公立幼稚園から高校まで教員採用試験の面接で読書をしているかどうかを尋ね、教員の読書への関心を高め、学生の読書への意欲を促してもらいたい。</p>	<p>市民がいつでもどこでも学べる環境は生涯学習社会として必要と考えており、図書館はその学びの環境の中でも重要な地位を占めていると考えております。</p> <p>図書館を質量ともに充実させるのは市としての責務であると考えますので、今後もさまざまな工夫を進めてまいります。</p> <p>また、読書には様々な効果があることから、本市では「小・中学校学校図書館整備事業」により学校図書館の蔵書を整理するほか、児童生徒が図書に興味関心を持ち、手に取りやすいように工夫し、読書や学習しやすい環境の整備に取り組んでおります。</p> <p>今後も、本市の児童生徒が、高校・大学生になっても読書に意欲を持ってもらえるよう、学校図書館の環境向上により、活用回数の増加を目指し、児童生徒の読書への興味・関心を高めるよう取組んでまいります。</p>

No.	提出方法	在住・在学等の区分 (該当するもの全て選択)	意見等	回答
5	持参(企画課)	<p>■弘前市内に住所を有する人</p> <p>■弘前市内に事務所等を有する人または団体等</p> <p>□弘前市内に勤務する人</p> <p>□弘前市内の学校に在学する人</p> <p>■弘前市に対して納税義務がある人、または寄附を行う人</p> <p>■本計画(素案)に利害関係を有する人</p>	<p><該当箇所> 政策②文化・スポーツ</p> <p>(仮称)弘前市芸術文化施設について</p> <p>(仮称)弘前市芸術文化施設の運営にあたり、市民協働、学び、文化・スポーツ、景観・文化財などの政策と連携していただきたい。</p> <p>また、「美術館をなぜつくるのか」、「市が構想する美術館にどのような役割が必要か」などの定義を整理して進めていただきたい。</p>	<p>本施設の運営を含む吉野町緑地周辺整備事業については、文化芸術活動の推進を図ることなど、事業目的が多分野に渡ることから、基本計画においても、景観・文化財の施策などと連携して取り組むこととしております。</p> <p>また、本施設は吉野町煉瓦倉庫を美術館を中心とした芸術文化施設として、新しく生まれ変わらせる取り組みを進めており、現在進行形のアート、土地に根差したアートを発信し、世界を感じる芸術に触れることで市民生活の一層の充実と文化芸術活動の推進を図ることとしております。</p> <p>美術館の定義など様々なご意見に関することについては、昨年12月、市民向けの内容に更新した市HP「吉野町緑地周辺整備事業」のページにおいて、一部ご紹介しているものもございますが、引き続き、様々な方面から検討整理し、市民が利用しやすく、市民に愛される施設となるように取り組んでまいります。</p>

No.	提出方法	在住・在学等の区分 (該当するもの全て選択)	意見等	回答
6	持参(企画課)	<input checked="" type="checkbox"/> 弘前市内に住所を有する人 <input type="checkbox"/> 弘前市内に事務所等を有する人または団体等 <input type="checkbox"/> 弘前市内に勤務する人 <input type="checkbox"/> 弘前市内の学校に在学する人 <input type="checkbox"/> 弘前市に対して納税義務がある人、または寄附を行う人 <input type="checkbox"/> 本計画(素案)に利害関係を有する人	<p>①将来の都市像「みんなで創り みんなをつなぐ あずましいりんご色のまち」に関する所見 *「りんご色のまち」について 「将来の都市像」ではPDCAIによって検証され、アウトカム(成果)が求められるので、測定できなければならない。りんご色は測定できないので、マネジメントの対象にならない。 *「あずましい・幸福・福祉」について 「あずましい」は、津軽人の暮らしの中で育ってきた言葉で、ハピネスやウェルビーイングとは同じではなく、異なった意味をもっていると考えられる。「あずましい」を岩木山、城、桜、りんごに続く、5つめの宝として、世界に発信したいものである。 【提案】 「市民の参加・協働による透明性ある良い市政」 「社会関係資本を増やし信頼社会を創る」 「幸福を実感する ーポジティブ感情の喚起」 「世界に開かれた ー環境等問題に貢献する」 将来の都市像に以上の4つの思いを込めて、 『みんな協働で創る 信頼でつながる人と人の関係性による あずましい世界標準のまち』 としてはいかがか。</p> <p>②目指すまちの姿 原案では、具体的な目指すまちの姿として5つ挙げられているが、市民会議の各班でつくった5つのキャッチコピーをそのまま列挙したものという印象を受ける。5つのグループに分けられているが、それぞれが伝えるメッセージの明確性、具体性、ストーリー性があってもよいのではと思う。</p>	<p>①の将来都市像「みんなで創り みんなをつなぐ あずましいりんご色のまち」は、2040年頃を見据えた長期的な展望のもと弘前市の目指す姿について、市民会議の中で市民が議論を重ね、案をまとめたものです。 将来都市像を指標として測定、評価するとのことご意見ですが、前述のとおり、将来都市像は2040年頃を見据えた長期的な目指す姿であるため、本計画の計画期間内においては、リーディングプロジェクトのプロジェクト指標及び各政策の政策課題指標、施策成果指標を毎年度チェックし見直しを行っていくことで、しっかりと計画の評価と改善を図ってまいります。</p> <p>②の目指すまちの姿も、市民会議での市民の意見をもとに、まとめられた内容となっております。それぞれが伝えるメッセージの明確性、具体性などにつきましては、「IV. 資料編」1. 策定の経緯について」「(5) 将来都市像策定のための市民会議の経過」に概要を掲載しております。また、市ホームページにも市民会議の当日資料や市民会議で出された市民意見等を掲載しております。</p>